

小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(平成31年度実績)

■平成31年度 教育・保育:「量の見込み」に対する「確保の内容」及び「実施時期」(※事業計画書中間年の見直し12ページ一部抜粋)

		計画策定時(A)				
		1号	2号	3号	0歳	1・2歳
①量の見込み		1,108	636	647	221	426
②確保方策	特定教育・保育施設	646	782	734	208	526
	確認を受けない幼稚園	815	-	-	-	-
	特定地域型保育事業	-	-	-	-	-
	認可外保育施設	-	15	39	30	9
	合計	1,461	797	773	238	535
過不足(②-①)		353	161	126	17	109

幼稚園 ← → 保育所

		実績(R2.3現在)(B)				
		1号	2号	3号	0歳	1・2歳
		954	827	679	196	483
②確保方策	特定教育・保育施設	751	803	718	198	520
	確認を受けない幼稚園	550	-	-	-	-
	特定地域型保育事業	-	-	-	-	-
	認可外保育施設	-	0	68	33	35
	合計	1,301	803	786	231	555
過不足(②-①)		347	▲24	107	35	72

幼稚園 ← → 保育所

		実績(B)-計画(A)				
		1号	2号	3号	0歳	1・2歳
		▲154	191	32	▲25	57
②確保方策	特定教育・保育施設	105	21	▲16	▲10	▲6
	確認を受けない幼稚園	▲265	-	-	-	-
	特定地域型保育事業	-	-	-	-	-
	認可外保育施設	-	▲15	29	3	26
	合計	▲160	6	13	▲7	20
過不足(②-①)		▲6	▲185	▲19	18	▲37

幼稚園 ← → 保育所

平成31年度取組と今後の事業計画、課題等

保育所部分の利用定員(確保方策)は、平成30年2月に行った本計画の中間年の見直し後、新制度に移行した園があったため、特定教育・保育施設では2号について21名の増となった。

令和2年3月現在では、幼稚園部分の利用定員1,301名に対し954名の利用実績があり、保育所部分では1,589名の利用定員に対し1,506名の利用実績であった。この結果から、保育所部分において、83名分保育需要を上回る利用定員を確保しているように見受けられるが、特定の保育施設への入所希望や、保育士不足から各保育施設において十分な保育士数を確保できていない状況があり、希望する保育所等に入所することができない入所待ち児童は依然として生じている。このため、保育所部分の定員の確保に加え、保育士等の保育従事者の確保に努める必要がある。

なお、今後も、従来型の幼稚園から子ども・子育て支援新制度幼稚園や認定こども園へ移行する施設が増えることが予想されるところであり、利用定員の設定については、事業者の意向を確認しながら設定していく必要があると考える。